

【各審判員の主なポイント】

(茨城県ママさバレーボール連盟提供)

1 主 審

- (1) 姿勢・・・体は真っ直ぐ前、顔だけを動かす(かがんだり、首をかしげたりしない)
- (2) **吹笛は大きく**分かりやすく(強弱、長さのめりはりも)
- (3) **吹笛のタイミング**(ボールが床や物体に触れた瞬間、反則が確認された瞬間)
- (4) **シグナルは慌てず、はっきり**分かりやすく
- (5) サービス許可は、コート、ベンチ、審判員を見渡してから
- (6) 判定は先に起きたものでとる
- (7) **反則ジャッジ**は、両チームに公平に(基準をもって)
- (8) 自分の判定に自信をもって(判定を覆すことは極力しない)
- (9) 副審、記録、線審とのアイコンタクトをしっかり

〈※主な反則について〉

①オーバータイム	ワンタッチがあったか、ボールがネットにかかったかよく見る
②オーバーネット	ボールヒットの瞬間の位置で判断(ボール側に目を置く)
③ドリブル	レシーブ1本目はとらない。ボールタッチの瞬間をよく見る *ボールが回ってもドリブルでない場合もある ブロック後のドリブル注意 *同じ人が連続して触れたか、ネットをはさんだかよく見る *複数人でブロック接触後は、連続してプレーしてもOK
④ハウルディング	ボールが身体部位で止まる、ボールをつかむ、持ち上げる、押し込む、運ぶ動作をした場合 レシーブ1本目でもとれる。ラストボールもよく見る

2 副 審

- (1) 立ち位置・・・基本的にはレシーバー側(ブロック側)
- (2) 主審の判定に追従(**得点を取られた側に移動してから**)
- (3) 常にコート内とベンチに目配りを
- (4) OKシグナルは、記録員、ベンチ、選手を確認してから出す
- (5) 主審、記録員とのアイコンタクトをしっかり
- (6) **必要に応じて吹笛**し、シグナルを出す(**吹笛は大きく長めに**)



①タイムアウト	監督が 立って、シグナル を出しているか確認 〈吹笛〉〈計時〉〈シグナル〉の順
②プレーヤー交代	監督が 立って、シグナル を出しているか確認 プレーヤーの番号確認、記録とアイコンタクト、 速やかに 交代
③タッチネット	ネット際に目を残し 、よく見る(スパイク、ブロック後に注意)
④アンテナ・物体接触	副審側の場合は吹笛で知らせる(接触させた人を指す)
⑤アンテナ外通過(外から内)	予測して、見やすい位置に移動 (体の向き大事) アンテナ外から相手コート内に入った場合吹笛
⑥アンテナ外通過(外から外)	副審側、主審の後ろをボールがネットを越えた時点で吹笛
⑦サービスオーダー違反発覚	瞬時に大きく吹笛 (深みにはまらないうちに処理)
⑧けが人が出た時	状況を判断して吹笛
⑨ボール・プレーヤー侵入	危険な場合は吹笛で止める

3 線 審

- (1) コートから1.5mの位置に立ち、担当ラインから2m内側まで判定
- (2) 主審とのアイコンタクトをしっかりと
- (3) ワンタッチしてもコート内に落ちればインジャッジ
- (4) ワンタッチは、マイライン及びマイコートで出す(自分のコートは2人とも出す)
- (5) アウトジャッジは、担当ラインのみ出す
※「ワンタッチ」と「2タッチ、3タッチアウト」の見極め 大事(H29年度よりワンタッチ変更)
- (6) 1,3番線審は、担当サイドライン18mをジャッジ(注:ネット際、相手コート側)
- (7) 小旗を振る時はできるだけ音を出す(気づいてもらう)



①サーバーラインクロス	担当ラインのみ (サーブを打つ瞬間の足元を見る)
②アンテナ外物体接触	<u>ゲームアリーナ内の物体</u> にボールが接触した場合、4人全員 (アンテナ・ネット・ワイヤー・紐・支柱・審判台・審判員・天井)
③アンテナ外通過	アンテナ外からコート内に入ってしまった場合 基本は対角線の人(確認できた人)

4 記 録

- (1) 必ず主審のポイントを確認してから記入
- (2) 点示の得点も随時確認
- (3) サービスオーダ違反は直ちに音の装置で知らせる
- (4) プレーヤー交代の記録は正確に速やかに
- (5) 次のセットのプレーヤーは、前のセット終了時のまま書き写す
 *セット間のプレーヤー交代もあるので、マスの下半分位に記入
- (6) 3セット目の記入の仕方注意
 *コートチェンジの時、タイムアウト・プレーヤー交代の記録も忘れずに書き写す

〈※プレーヤー交代の手順〉

- ①交代できるプレーヤーか確認できたら片手を上げる
- ②コートに入るプレーヤー番号を記入し、S欄の番号を斜線で消す
- ③コートから出るプレーヤー番号を斜線で消し、S欄に転記(左端から)
- ④記入が終わったらOKシグナルを出す

(例) 第1サーバー
(2→12)の場合

1	2		②
	12		③

S	10	12	
	2		③

※セット間の交代



12
4

S	4